健康とくらし

第290号　2023年3月

発行責任者：大塚　研二
岐阜健康友の会
岐阜市北山1丁目13番11号
事務局／TEL（058）244−3522
FAX（058）215−7877
E-mail　tomonokai@gifu-min.gr.jp

2022年12月末日現在
会員数：10,893人
基金人数：1,659人
基金合計：4億8074万6千円

●会員変更は下記へ
ご連絡ください
☎058（241）2018
（洞田）

新病院建設は着々と進んでいます

みどり病院　事務長　中尾　美絵

昨年11月に実施しました新病院外壁デザインシール投票の結果、法人理事会にて写真のような外壁にすることが決定しました。昨年末には、工事現場囲い2か所に外壁デザイン看板を設置しました。

すこやか診療所の東側にアスファルト駐車場が完成しました。新病院の患者駐車場となります。行政からの指導を受け、100年に1度の大雨が発生した際には、新病院の地下とこの患者駐車場に雨水が一時的に集まるようにして周りの地域の浸水を緩やかにする機能もあります。なお、法令に則って設計された植栽部分は2024年開設前の行政検査で許可がでるまで植え込みができません。とくに広い範囲が1年ほど土の状態となるので早く緑地が欲しいところですが、ご理解いただけると幸いです。

新病院本体工事も順調に進んでいます。12月には区画毎に杭打ちが行われ、現在は掘削と基礎工事に移っています。11月より毎週、現場事務所にて詳細な打ち合わせを各業者と進めています。現在は、電気やガス、水道のほか医療機器や医療用ガスなどの配管工事に関わる詳細図面の最終確認をしています。長引くコロナ禍とロシアによるウクライナ侵攻などで建築資材は高騰を続けています。そのため、2024年春の完成に向け通常より早めに発注する必要がある資材が多くあります。皆様からの勤医協基金を大切に使用させて頂くよう、細心の注意を払って資材選定を進めています。引き続き、勤医協基金、寄付金へのご協力をお願いいたします。

新病院完成が1年に迫ってきました。コロナ対応を含め、通常の医療や介護業務も重視しつつ、建設工事に関わるグループ会議（外来機能、病棟機能のほか、在宅医療、SDGsやHPH（ヘルスプロモーションホスピタル）に配慮した内装など）や個人宅、商店、他院、公的機関、関連団体等も含めた地域訪問・懇談会を全職員で行う取り組みを進めています。

建設業者からの提供で、定点カメラやドローンで撮影した映像を病院ホームページで適宜公開しております。ホームページ更新時には、岐阜健康友の会公式LINEでもお知らせいたしますので、ぜひLINE登録をお願いいたします。

（登録方法は3ページに掲載しています）

もう一回り、二回り、勤医協基金を呼びかけましょう

「地域に開かれたみんなにやさしい病院」は来年春に竣工です

みどり病院のリニューアル完成が1年後の春に迫りました。本体工事が始まり、一部の駐車場は完成しています。「岐阜健康友の会の公式ライン（LINE）」で工事の進捗の様子をみることができます。周りの人にLINEへの登録を勧めましょう。

勤医協基金は新病院開院に必須の資金です

みどり病院のリニューアルが計画されてから、健康友の会はその資金のために勤医協基金の協力者を3000人に増やし、基金を2億円集める目標を提起しました。昨年以来、多くの会員と職員の皆さんの共同の力で、各地域で説明会を開き、病院周辺にチラシを配布してきました。現在（2022年末）、協力者は目標の55・3％、基金は目標の30・4％（2022年度目標8000万に対し76・0％）になっています。リニューアル完成には健康友の会の目標の達成が必須の条件です。特にこの1年、もう一回り、二回り呼びかけを強め、目標に近づきましょう。基金は健康友の会の会員本人からお借りする資金です。会員の皆さんに再度呼びかけ基金を訴えながら、周りの人に健康友の会の活動をアピールし、会員を増やし基金の協力者を広げましょう。

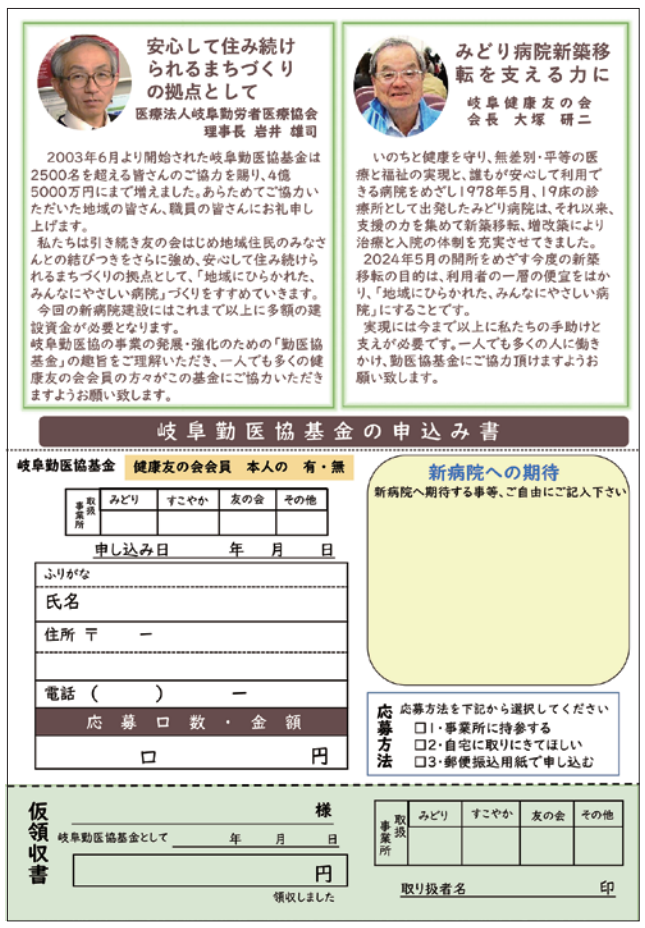
新病院は私たちが地域で安心して住み続けるための無差別・平等の病院です

新病院は「地域に開かれたみんなにやさしい病院」のスローガンをもとに、より地域の住民の願いにこたえ、地域に頼られる病院をめざしています。私たちの支援、この病院を一層私たちの想いに寄り添う病院にするのではないでしょうか。

会員の皆さん、一人でも多くの方に声掛けを続けましょう。

岐阜健康友の会会長　大塚　研二

勤医協基金にご協力ください



安心して住み続けられるまちづくりの拠点として

医療法人岐阜勤労者医療協会
理事長　岩井　雄司

2003年6月より開始された岐阜勤医協基金は2500名を超える皆さんのご協力を賜り、4億5000万円にまで増えました。あらためてご協力いただいた地域の皆さん、職員の皆さんにお礼申し上げます。

私たちは引き続き友の会はじめ地域住民のみなさんとの結びつきをさらに強め、安心して住み続けられるまちづくりの拠点として、「地域にひらかれた、みんなにやさしい病院」づくりをすすめていきます。

今回の新病院建設にはこれまで以上に多額の建設資金が必要となります。

岐阜勤医協の事業の発展・強化のための「勤医協基金」の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの健康友の会会員の方々がこの基金にご協力いただきますようお願い致します。

みどり病院新築移転を支える力に

岐阜健康友の会
会長　大塚　研二

いのちと健康を守り、無差別・平等の医療と福祉の実現と、誰もが安心して利用できる病院をめざし1978年5月、19床の診療所として出発したみどり病院は、それ以来、支援の力を集めて新築移転、増改築により治療と入院の体制を充実させてきました。

2024年5月の開所をめざす今度の新築移転の目的は、利用者の一層の便宜をはかり、「地域にひらかれた、みんなにやさしい病院」にすることです。

実現には今まで以上に私たちの手助けと支えが必要です。一人でも多くの人に働きかけ、勤医協基金にご協力頂けますようお願い致します。

岐阜勤医協基金の申込み書

岐阜勤医協基金　健康友の会会員　本人の　有・無

取扱事業所	みどり	すこやか	友の会	その他

申し込み日　年　月　日

ふりがな
氏名
住所 〒　ー
電話（　）　ー

応募口数・金額
口　円

新病院への期待
新病院へ期待する事等、ご自由にご記入下さい

応募方法
応募方法を下記から選択してください
□1・事業所に持参する
□2・自宅に取りにきてほしい
□3・郵便振込用紙で申し込む

仮領収書
様
岐阜勤医協基金として　年　月　日
円
領収しました

取扱事業所	みどり	すこやか	友の会	その他

取り扱者名　印

基金申し込み書見本

勤医協基金振り込みのご案内

友の会会員様から、基金の振り込みについてお問い合わせが多くありましたので、振り込みをご希望される方は下記にてお振込みをお願い致します。振り込みをされる方は、手続きの関係がありますので、必ずご連絡を頂きますようよろしくお願い致します。

十六銀行	芥見支店	普通	0194599	医療法人 岐阜勤労者医療協会
岐阜信用金庫	芥見支店	普通	1100612	

郵便局での振り込みをご希望される会員様は、下記までご連絡ください。

※手数料に関しましては、会員様ご負担となりますのでご了承頂きますようよろしくお願い致します。

連絡先　058（241）2018　岐阜勤労者医療協会本部（洞田）

健康春秋

今、学校給食の無償化の運動が全国で進められています。学校給食の実施自治体は市町村であり、岐阜県でも山県市が昨年の九月から無償化になりました▼戦後生まれた学校給食はもともと貧困対策でした。欠食児童をなくすためのもので、貧困格差が広がりつつある現在の日本でも無償化は切実な課題です▼それに食材にも問題があります。現状の給食パンは、岐阜県では輸入小麦が約五十％使用され、その輸入小麦には高い確率で発がん性のあるグリホサートという農薬成分が検出されています。そのことに危機感を抱いた若いお母さんたちが学校給食をオーガニックにしたいと署名活動を始め1万筆以上を集めています▼ところで、お隣の韓国では「親環境無償給食」という名称で、すでに全国無償化されています。その上に「親環境」という言葉が示しているように、オーガニックの食材が高い率で使用され、それを持続させるための体制が整っているようです。韓国でなぜ、無償化とオーガニック化が可能であったか。そこには、それを支える市民活動と農民組合の存在、それに自治体の首長の姿勢が大きいようです▼日本でも、和歌山県、滋賀県、熊本県など、県内産の小麦を学校給食に使う運動が、新日本婦人の会と農民連の協力で進められ、実現しています。岐阜県でも実現したいものです。（K）